



月ヶ瀬公民館だより

公益財団法人奈良市生涯学習財団
月ヶ瀬公民館
奈良市月ヶ瀬尾山 2815
電話・FAX:0743-92-0346
発行人:館長 藤田美佳

処暑

この原稿を書いている8月15日は、「終戦の日」です。「先の大戦」といわれる第二次世界大戦の終戦から80年の夏を迎えました。テレビや新聞では、戦後80年特集が組まれ、惨禍をふりかえり、恒久的な平和を希求する報道を目にします。月ヶ瀬公民館図書室では、2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻以降、両国の民話と絵本や、戦争に関わる絵本を展示する一角を設け、戦争と平和について考える機会を提供しています。しかし今月 戦後80年の平和学習を設定していなかったため、少し長くなりますが、最近の個人的な体験を含めてお伝えしたいと思います。

先月わたしは、広島市の平和記念資料館に行ってきました。2019年に展示が大幅にリニューアルされてから初めての訪問です。以前とは異なり、「人」を介して被爆の実相を明らかにする展示になっていたため、世代や国籍を超えて、理解しやすい内容になった印象を受けました。翻訳端末を利用している外国人が増えたようにも感じました。

展示以外で心に残ったのは、予約不要で、無料で聞ける「被爆体験伝承講話・家族伝承講話」です(1日4回開催)。わたしが参加したのは、被爆したご本人が高齢のため、被爆者から定期的に聞き取りをしているグループの方が話した回でした。高齢になるまで一切語らずにきた被爆者が、「二度とあのようなことがあってはならない」と、近年になって講話活動に取り組んでいる様子と、その内容についての語りです。1時間の予定でしたが、質疑応答を終えたときには、1時間半を超えていました。その後もその方とは、郵便やメールで連絡を取り、学びを深めています。

帰り道、市内各所で「原爆投下80年、カープ初優勝50年」という表記を目にしました。このふたつのことが同時に書かれていることが不思議な気がしました。「75年間は草木も生えぬ」と言われた広島市の復興の象徴として、広島市民球場を拠点(2009年まで)としたプロ野球球団広島東洋カープが捉えられていたことを知りました。球団は原爆投下の5年後の1950年に創設され、長い低迷期間ののち1975年に悲願の初優勝を遂げています。被爆者のなかには、「勝ち負けじゃない、戦い続けるカープが自分を励ました」と語る方、高度経済成長期に日本中が復興に向かい湧く中、負け続けるカープの姿に、広島と自らの姿を重ね合わせていた方が少なくなかったそうです。カープの初優勝当時は原爆投下から30年、平和大通りに30万人が集い、祝勝パレードが行われ、復興を実感したと聞きました。

情報通信技術が発展している現代ですが、現地に行ってこそ見えるもの、気づくことがあり、そうした学びの機会は重要だと思います。しかし現実的には、すべての人が、学びたいこと、関心を持ったことのために現地へ行くことは容易ではありません。図書室では、ノーベル平和賞を受賞した核兵器廃絶国際キャンペーンと日本原水爆被害者団体協議会の本や、日系アメリカ人と多様なルーツを持つ若者たちが広島と長崎に投下された原爆の是非を話し合う『ある晴れ夏の朝』、国連軍縮部の推薦図書『ラスト・チェリー・ブロッサム わたしのヒロシマ』などを所蔵しています。青少年向けの本や絵本も用意していますので、是非この機会に手に取っていただけたらと思います。



今回わたしは、伝承講話の担い手の方、家族伝承の方の活動や、広島カープの話聞きながら、多くの方々が、当事者として学び、取り組み、主体として歩んできた活動の一端に触れました。戦後、平和と民主主義を学び、町村振興の底力を生み出す場として構想された公民館(昭和21年文部次官より各地方長官宛に発せられた「公民館の設置運営について」)の理念に即し、学びの場と機会を充実させていきたいとあらためて実感しました。今般、語り部さんから送っていただいた資料や『子供に残したい 聞かせたい話』(月ヶ瀬村老人クラブ連合会)も含めて、館内で閲覧できるように整えたいと思います。

こんな講座がありました！

夜の図書室～ちょっぴり怖い絵本を読もう～



市内全公民館で開催されている夏休みの子ども向け講座「公民館でとっておきの夏休みを♪」のチラシを見て、楽しみにしてくれていたと言って参加してくれました。

月ヶ瀬女性学級 7/19



今年度初回は、館長の藤田が講師を務め、ドイツの言語技術教育について紹介しました。

お子さんと参加された方からは、自分のための時間が持てたことの喜びと、「子どもと共にコミュニケーションについて学んでいきたい」との感想がありました。他の方からは、「すぐに活用できることで興味深い」との感想もありました。言葉やコミュニケーションに関する学習は関心のある方が多いので、今後も機会を設けていきたいと思います。

こども映画まつり 8/6



夏休み期間恒例の映画上映会は、「まんがインソップ物語」と「楽しいムーミン一家～魔法の帽子」を鑑賞しました。図書室に世界の名作『インソップ物語』がありますので、こちらも是非読んでみてください。1話につき、見開き2ページなので、読みやすいです。

月ヶ瀬文化祭 予告

11月1日(土)展示

2日(日)展示、舞台発表、バザー

8月27日夜7時30分～実行委員会を開催します。

月ヶ瀬女性学級 9月の案内



9月13日(土) 午前9時30分～11時30分

ちょっと異文化体験(2) フランス編

フランスの食文化のお話などを聴いて、クスクス・焼菓子・紅茶を味わいながら、異文化を体験します。

※参加費は1,000円(材料費)です。

参加を希望される方は、8月31日(日)までに、参加費を添えて、公民館窓口でお申し込みください。

移動図書館



9月19日, 10月17日, 11月14日, 12月12日, 1月16日, 2月13日, 3月13日
各回とも金曜日、午後2:50～3:30

■毎月10人の利用がないと、10月以降移動図書館は廃止になります。存続のため、ご利用をお願いします。

【移動図書館の利用について】

- ★1か月、1人10冊まで借りられます。
- ★市立図書館蔵書のリクエストもできます。
- 大型紙芝居を依頼することもできます。
- ★インターネットで予約して、移動図書館で受け取れます。

■市立図書館
貸出券の作り方→



奈良市生涯学習財団

<https://manabunara.jp/>

公民館だよりバックナンバー

施設紹介→

月ヶ瀬公民館→

公民館だより



夜の図書室 ～読むを語る・読むとつながる 8/1



本講座は、毎月第1金曜日の夜7時～8時30分に集い、本を介して、地域の仲間がゆるやかにつながり、語る会です。

「夏に読みたい本、夏といえば...の本」を持ち寄り、持参した本についてと、それぞれの思いを伝え合いました。今回も新たな参加者が増え、閉館時間の9時まで語り合いました。毎回参加者による企画で開催しています。



次回は、9月5日(金) 午後7時～8時30分

テーマは「老いと尊敬」です。テーマに関する本をお持ちください。

会場は、ONONO オノオノです(奇数月)。

風 の 筋 に 委 ね て 揺 る 大 青 田	梅 雨 明 け す 記 録 史 上 の 最 速 で	緑 陰 や 風 と 話 し て つ い 長 居	初 蝉 や 止 ま ぬ 友 と の 長 電 話	ノ シ ャ ッ プ の 間 宮 林 蔵 黒 南 風 に	ひ つ じ 雲 古 地 図 に 朱 き 里 道 かな	海 底 に 沈 ん で 寝 た い 熱 帯 夜	い ば む し り 難 航 不 落 二 刀 流	地 図 広 げ こ こ は 納 涼 〇 じ る し	梅 雨 明 け て ケ ニ ア の 珈 琲 封 を 切 る	万 葉 の 恋 う た は る か ね ぢ り 花	手 花 火 の 数 増 や し ゆ く 家 族 の 輪	天 気 図 の 赤 き 列 島 朝 曇	坐 り こ み テ レ ビ 鑑 賞 昼 寝 起 き	ポ ン 菓 子 の 手 の 平 い っ ぱ い 花 火 の 夜	夕 立 や 峠 こ ゆ れ ば 傘 た た む
ますみ	卓	すま	定代	臣生	知里	旅人	白鯨	朋子	新哉	節子	由姫子	豊美	利明	ふみ子	和代

月ヶ瀬俳句会【七月】